

令和4年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書

(市町村分) 個票

自治体名

新発田市

(都道府県: 新潟県)

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業			
区分	機運醸成の取組			
関連事業メニュー	2.2.3 主に若い世代に対し、結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を含めた将来のライフプランを希望どおり描けるよう、その前提となる知識・情報を提供し、考える機会を持たせる取組			
個別事業名	中学生向けライフデザイン講座	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	交付決定日	～	令和5年3月31日	事業開始年度 令和3 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	325,000			円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>全国的に少子化が進む中、当市の出生率も年々低下傾向にあり、令和元年の合計特殊出生率は、1.37と、県平均の1.38を下回っている。少子化の要因の一つである婚姻率の低下や非婚化、晩婚化も進んでおり、結婚、出産、子育てのそれぞれのステージに応じた支援が必要である。</p> <p>市では、「しばた魅力創造戦略」の基本目標の一つとして、結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、「しばた流「子育て支援サイクル」の確立」を掲げ、以下の施策に取り組むこととしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚の希望をかなえる ・安心して妊娠・出産できる支援の充実 ・安心して楽しく子育てできる環境づくり ・子育てしながら働き続けられる環境の整備 ・未来を担う「しばたっ子」の育成 <p>上記取組のうち、当事業に係るものについては、「未来を担う「しばたっ子」の育成」に位置付けられており、中学生を対象に、直面する人口減少問題について理解を深め、自分の理想とする将来について考えるきっかけとなるライフデザイン講座を実施し、若い世代の希望を叶えるための一助とする。</p>			
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) ※(注)3</p> <p><個別事業における現状と課題> 加速する少子高齢化、核家族化、地域との関わり希薄化などにより、多様な考え方や体験を得る機会が減少し、自分の理想とする将来像を描けず、自立的な進路選択や将来設計が希薄なまま進学・就労する若者が増加している。 学校教育においても、変動する社会情勢に対応した「生きる力」を育てるキャリア教育を、家庭や地域、自治体と連携して実施し、これからの未来を支える子ども達が自立的に自分の未来を切り拓いて生きて行くための力の育成が課題となっている。</p> <p>令和3年度から新規で当事業を実施したが、地域によって家族構成や地域との関わり、生徒数等に差があり、学校によって子ども達の現状や課題などに違いがあることや、事前学習が無いと将来に対するビジョンが描きづらいという実情が見られた。</p> <p>また、学校によっては、結婚や出産は個人の自由であるため踏み込んだ話はNGとし、進学や就職などキャリアに重点を置いた内容を望む声も聞かれた。</p> <p><課題への対応> 子ども達が、将来に希望を見出し、自分の理想とするライフデザインを具体的に考えるきっかけとなる機会を学校や地域と連携し提供することで、早い段階で、自身の希望する将来に向かって自立的に行動し、希望を叶える一助となる取組を実施する。</p> <p>各学校の地域や子ども達の実情に応じた内容となるよう、学校と打ち合わせをしながら実施する。また、可能な限り、職場体験学習のある学年を対象とし、より自分の将来についてイメージしやすいよう、実施時期や内容を工夫する。また、令和3年度に実施した内容や成果を各学校へ情報提供し、課題の共有及び意識啓発を図る。</p> <p><取組内容> 市内の中学生を対象に、学校や地域と連携し、子ども達が自身の将来について考え、理想とするライフデザインを描きかけとなる講座を実施し、地域の課題(少子高齢化、人口減少問題など)や男女共同参画社会への理解を深めるとともに、仕事、結婚、出産、子育てなど将来のライフプランについて自身の問題としてとらえ、イメージすることで、理想とする将来像に向かって自ら選択・実践し、希望を叶えるための一助とする。</p> <p><具体的な事業内容> 市内の中学生を対象に、キャリア教育の一環として授業のコマを使い、ライフデザイン講座を3回実施する。(対象人数50人×3回) 自身の理想とするライフデザインを描き、他者と共有することで、多様な考え方や生き方があることを理解し、様々な視点で自身の将来について具体的に考え、行動するためのスキルを学ぶ講座を、当該事業に精通した事業者へ委託し実施する。 ※より将来像をイメージしやすくするため、職場体験学習終了後の実施を各学校に勧め、結婚や子育てについて押し付けにならないよう配慮しながら自分事として考える機会とする。</p>			

【次年度以降に向けた事業の方向性】

令和3～4年度の実施実績を踏まえ、実施回数の拡大や実施方法について検討し、市内全域の中学校での実施に向けて継続して事業を進める。

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

茨城県那珂市 中学生のためのライフデザインセミナー

【事業実施にあたっての留意点】

子ども達に対し、結婚や出産に対する特定の価値観の押し付けやプレッシャーとならないよう、学校と連携しながら事業展開を図る。

	KPI項目	単位	目標値	現状値
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	合計特殊出生率	%	1.54 (R5年)	1.37 (R1年)
	子育てしやすいまちだと感じている保護者の割合	%	60.0 (R5年)	55.1 (H30年)
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	1.37 (R1年)	
	婚姻件数	件	340 (R2年)	
	婚姻率	%	3.6 (R2年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	ライフデザイン講座実施回数	回	3	3 (R3年度)
	自分の将来について、理想とするライフデザインを考えるきっかけとなったと回答した生徒の割合	%	80	89 (R3年度)
	結婚や子育てに対する意識が高まったと回答した生徒の割合	%	80	81 (R3年度)
	地域の現状や課題に対する理解が高まったと回答した生徒の割合	%	80	94 (R3年度)
	男女がそれぞれの立場を尊重しながら結婚や子育てをすることが大切だと回答した生徒の割合	%	80	73 (R3年度)
	参加目標人数	人	150	119 (R3年度)
	参加目標に対する達成率	%	80	79 (R3年度)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	他自治体との連携は無し。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	県内の中高生を中心にキャリア教育分野で実績のある民間事業者と連携し、地域や子ども達を取り巻く環境の課題を分析、共有し、専門的な知識とノウハウを有する事業者へ業務委託することで、効果的、効率的に事業を実施する。			
委託契約の有無 ※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合のみ記載	有			
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け」には、これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付けを記載すること。

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和4年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。